

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和4年6月21日（火）

1. 基本事項

施策		道路・交通環境整備の推進		期間	平成30年度～令和4年度	施策担当部課名	都市整備部 都市計画課
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	目的・対象			道路などの整備が計画的に行われるとともに、道路や橋りょうの老朽化に適切に対応することにより、誰もが安全で快適に利用できる道路空間を確保していくことを目的とする。
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり				
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進				
	主要プロジェクト						
重要度・満足度	安全かつ快適な道路環境への市民の重要度は高く、逆に満足度はやや低い状況となっている。			施策推進のための主な取組	交通の円滑化及び利便性向上を図るため都市計画道路等の整備市道の安全を確保するため、路面や構造物の維持管理橋りょう管理のための調査、設計、補修を実施		
施策を取り巻く社会状況等	高度成長期に一齐に建設された道路、橋りょうなど道路関係施設の老朽化が進んでおり、道路及び橋りょうの維持管理体制の構築が求められている。						

2. 評価指標

上段は目標値、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				一部達成	一部達成	一部達成	一部達成	
成果指標	日常の道路利用に特に不便を感じていない市民の割合	%	-	43.70	44.00	44.30	44.60	44.90
	市民まちづくりアンケート		42.30	47.90	50.70	51.50	48.70	
	道路維持管理上の苦情件数	件	-	1,058.00	1,048.00	1,037.00	1,027.00	1,016.00
	市民からの道路維持に関する年間苦情件数		1,189.00	1,322.00	1,267.00	1,754.00	1,561.00	
	道路・橋りょう維持管理上の事故件数	件	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	管理瑕疵により保険適用となった市管理道路の事故件数		3.00	1.00	2.00	4.00	0.00	0.00

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	拡充	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>道路利用についての市民満足度は目標を上回り、維持管理上の事故も0件であったが、苦情件数は目標に達しなかった。前年度と同様、苦情件数の増加が著しい背景には、コロナ禍という社会問題も影響し、市民が限られた地域での生活を求められていることから、居住地域の細部についても要望が寄せられるようになっている。こうした社会状況の変化も注視しつつ既存事業の拡充を行い、道路の修繕等をより迅速に実施できるよう、資源の投資を拡充し、苦情や事故に対して適切な処理・対応を行う必要がある。</p>				
			評価者	都市計画課長 中島 隆

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業の拡充	<p>・市内全域にわたって舗装の老朽化が進んでいる。予防保全的な修繕の拡充により、事故や苦情件数を抑えるとともに、計画的な修繕及び整備を実施していく。</p> <p>・橋りょうについては安全性を確保するための定期点検を継続し、補修の必要があるものについては迅速かつ確実に補修を行い、長寿命化を図っていく。対象となる工事の補助金内示率が低いいため、国県に強く要望を進める。</p>
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

<p>今後も道路管理者として安全で快適な道路環境を確保していくため、予防保全を含めて継続的な補修及び整備を実施していくことが重要である。また、橋りょうについては、長寿命化計画に基づく計画的な対応が重要である。</p> <p>経費については、適切に工事費を算出し、必要な予算確保により安全性の確保に努めていく。</p>	
所属長	都市整備部長 田嶋 英生